

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15136

準用河川改修事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	2	河川・水路の整備
取組方針	1	準用河川及び普通河川の改修

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	平成21年	～	令和8年	担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	中路 貴夫 435-1090
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

		(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	【前代川】	前代川が合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行い、吉礼地区の浸水被害の軽減を図る。		【前代川】	吉礼地区の浸水被害を解消するため、合流する和田川への放水路の新設及び河道改修を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工			
	【永山川】	永山川の河道断面確保のため河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行い、西山東、東山東地区の浸水被害の軽減を図る。		【永山川】	浸水被害を解消するため、永山川の河道断面の河道改修及び永山川に合流する平尾川からのバイパスの新設を行う。 事業の流れとしては、 設計→測量→用地取得→工事→竣工			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度		
		【前代川】 用地購入：1,218㎡ 地盤改良：83m	【前代川】 用地購入 401㎡ 地盤改良 183m 護岸改修 50m 【永山川】 詳細設計 1式 (護岸設計) 測量業務 1式	【前代川】 地盤改良 270m 護岸改修 410m 【永山川】 詳細設計 1式 (橋梁等) 用地購入 1式	【前代川】 地盤改良 100m 護岸改修 190m 【永山川】 詳細設計 1式 (橋梁等) 用地購入 1式	【永山川】 詳細設計 1式 (橋梁等) 用地購入 1式		

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	191,389	262,619	192,642	214,958	183,331	483,307	191,723	0	556,210	0	
伸び率(%)	0%	0%	0.7%	△18.1%	△4.8%	124.8%	4.6%	△100%	190.1%	0%	
人件費	正規職員	0	0	0	0	14,066	37,723	0	37,723	0	
	正規職員以外	0	0	0	0	1,415	522	0	522	0	
	小計	0	0	0	0	15,481	38,245	0	38,245	0	
国庫支出金	60,000	81,800	60,000	68,300	60,000	157,100	57,000	0	176,833	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	115,400	150,000	112,600	127,800	115,900	308,400	131,600	0	339,200	0	
その他	0	0	0	0	0	14,485	0	0	0	0	
一般財源(税等)	15,989	30,819	20,042	18,858	7,431	3,322	3,123	0	40,177	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.76	4.72	0.00	4.72	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.21	0.00	0.21	0.00
主な予算内訳	工事請負費108,660千円 委託料17,420千円 公有財産購入費53,120千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
準用河川(前代川)の改修延長(累計)		m	目標値	148	290	395	500	
			実績値	129	230	430		
			達成度(%)	87.2%	79.3%	109%	%	%
準用河川(永山川)の用地買収面積(累計)		m2	目標値			304	3926	5012
			実績値			304		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
準用河川(前代川)の改修率		%	目標値	34	55	77	100	
			実績値	26	46	86		
			達成度(%)	76.5%	83.6%	112%	%	%
準用河川(永山川)の用地買収率		%	目標値			3	38.4	49.0
			実績値			3		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>準用河川前代川は、大雨時には河道の流下能力不足、放流先の和田川の内水排除不足により度々浸水被害が発生しており前代川の早期改修は流域住民の悲願である。和田川への放水路の新設を行い前代川流域の大幅な浸水被害の解消を目指す。</p> <p>準用河川永山川は、永山川及び平尾川の流下能力不足、中上流部にある用水樋門による断面阻害により、緊急輸送路である県道と歌山橋本線も度々浸水しており、早急な浸水解消が必要である。永山川の河道改修及び平尾川のバイパス新設を行い、大幅な浸水被害の解消を目指す。</p>
見直し・改善内容	<p>前代川改修事業は、当初平成32年度の完成予定であったが、平成24年の豪雨で甚大な被害があり、その後流域住民から早期完成の要望があり、工期の短縮が出来るように見直した結果、平成31年度の完成を目指す。</p> <p>永山川改修事業は、本川である和田川の整備と進捗を調整する必要がある、工事着手までに設計業務及び用地買収等を行先し、早期の事業完了を目指す。</p>